

ジャパン・ヘルスケアベンチャー・サミット2020の概要



結果概要

○日時・場所

2020年10月14日(水)～16日(金)にパシフィコ横浜で開催
(BioJapan、再生医療JAPAN、healthTECH JAPANと同時開催)

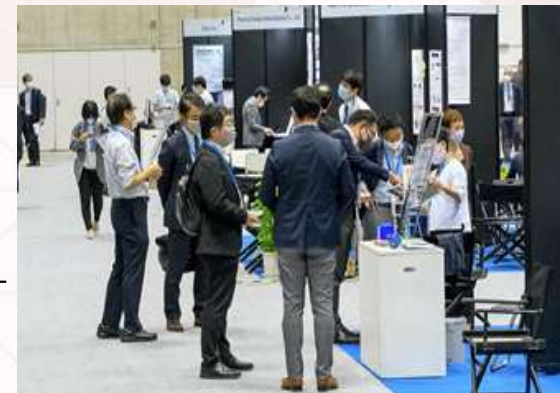


○来場者数 (BioJapan等との合計)

13,787人 (前回17,512人)

○出展者数 (共同出展者含む)

112団体 (前回126団体)



○マッチング成立数 (マッチングシステムにより面談が成立したもの)

1,188件 (前回1,349件)

今年度の開催上の留意点

今年度は新型コロナウイルス感染防止対策を徹底して開催したため、当初予定から以下のとおり変更することとした。

【感染防止対策】

- 3密を回避するための全体レイアウトの実施
- 入場時の検温・消毒の実施（発熱者は入場制限）
- 出展者・来場者・スタッフ等の滞在時のマスク着用の義務化
- 厚生労働省発表の感染対策指示を随時反映した参加者への事前通知・サイン掲示
- 来場者のCOCOAアプリインストール推奨

【変更点】

- ブース間の通路を拡大、距離を確保
- 会期内イベントはピッチコンテストのみ開催
- シンポジウムを会期外に開催（2/4に予定）
- レセプションの中止

○ブース出展

目的・趣旨

- MEDISOブースを出展し、広報周知を実施
- 来訪企業支援のため、オンライン相談会を実施、MEDISO相談につなげる

実施内容

- ポスターの展示
- オンライン相談会の実施
- 以下のリーフレット等を配布
 - MEDISO事業概要
 - シーズ宝箱（シーズマッチングシステム）紹介
 - 知財戦略策定支援公募チラシ
 - 相談申し込み方法を記載したチラシ
- ピッチコンテスト開催（次ページ参照）
 - 90秒エレベーターピッチ
 - JHVS Global Pitch

実施日

10/14（水）：10:00～
10/16（金）：17:00



○出展者90秒エレベーターピッチ

目的・趣旨

- JHVS2020出展者であるベンチャー企業のアピール機会創出のため、出展者のうち医療系ベンチャーもしくは事業化に結びつけたいシーズを有するアカデミア、個人等77者が90秒でピッチを実施。
- 特に優れたピッチを実施した計8者に対しては、2/4シンポジウム内プログラムとして表彰式で表彰。

審査の視点

- JHVS2020 Venture Award (5者)
 - 医薬品、医療機器、再生医療等製品に結びつくことが期待されるシーズを有するベンチャーやアカデミア、個人等のうち、実用化の可能性、シーズのポテンシャル、プレゼン技術等を総合的に判断し、将来性があると考えられる者
- 審査員特別賞 (3者)
 - 特に高い実用化の可能性、シーズのポテンシャルがあると期待するベンチャーを、審査員3者が独自に選出

実施日

10/14 (水) : 11:00-11:30、14:00-14:30、15:00-15:30

10/15 (木) : 11:00-11:30、14:00-14:30

10/16 (金) : 11:00-11:30、14:00-14:30

JHVS2020 Venture Award

MabGenesis株式会社【医薬品】
スリープウェル株式会社【医療機器】
株式会社メトセラ【再生医療等製品】
株式会社オンチップ・バイオテクノロジーズ
【再生医療等製品】
PuREC株式会社【再生医療等製品】

審査員特別賞

株式会社ナレッジパレット
【創薬技術等プラットフォーム】
株式会社ブレイゾン・セラピューティクス
【創薬技術等プラットフォーム】
株式会社ジーンテクノサイエンス
【再生医療等製品】



○JHVS Global Pitch

目的・主旨

- 海外展開を目指す国内ベンチャー企業への海外企業からの投資機会創出を目指した。JHVS参加者のうち参加希望者から8社を選出し、JHVSの初日（10/14 18-20時）にオンラインでのピッチプログラム配信を行った。現在アーカイブにて動画公開中。3月末まで公開予定。（動画差し替えにより現在再生数のカウントが0からとなっている）

スケジュール

- 下図参照

視聴者賞（1社予定）

- 当日の視聴者のインプレッションにより選出。同数票企業3社が選出された。

成果（2021/01/18時点）

- 国内VCからの情報共有依頼1件（直接の連絡開始）
- 海外大手製薬会社CVCからの技術情報共有依頼2件（現時点でノンコンベースでの情報共有）



配信中の現地の様子



オンラインでの配信画面

時期	実施事項
10/14	ピッチプログラム実施
10/19週	ピッチ内容フィードバック フォロー内容希望調査
11/16週	全体レクチャー
12/7週	個別企業フォローアップ
12/21-1/4週	各企業のVC（CVC）への紹介

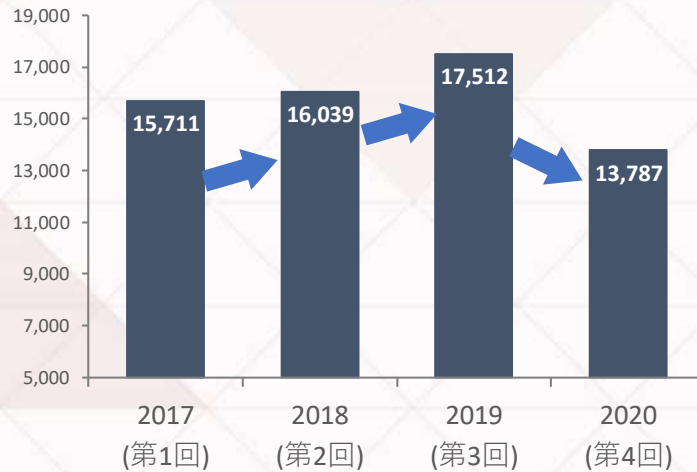
視聴者賞

PuREC株式会社
株式会社メトセラ
桃太郎源株式会社

来場者数の推移

※「BioJapan」「再生医療JAPAN」の来場者と併せた数

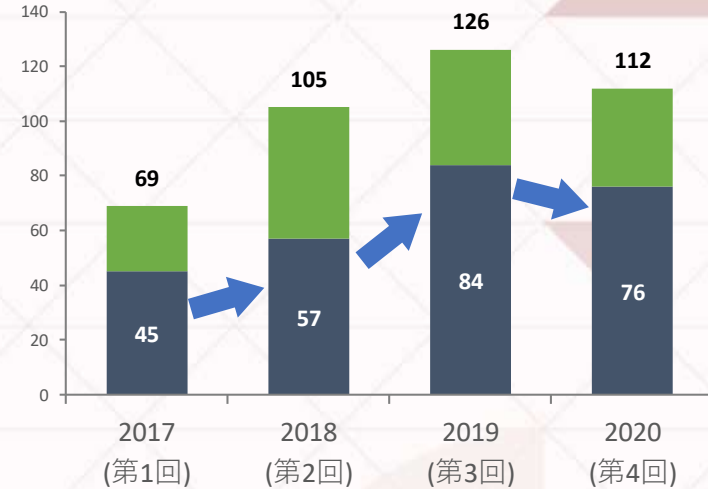
(単位：人)



出展者数の推移

※JHVSでの出展者(共同出展者を含む)

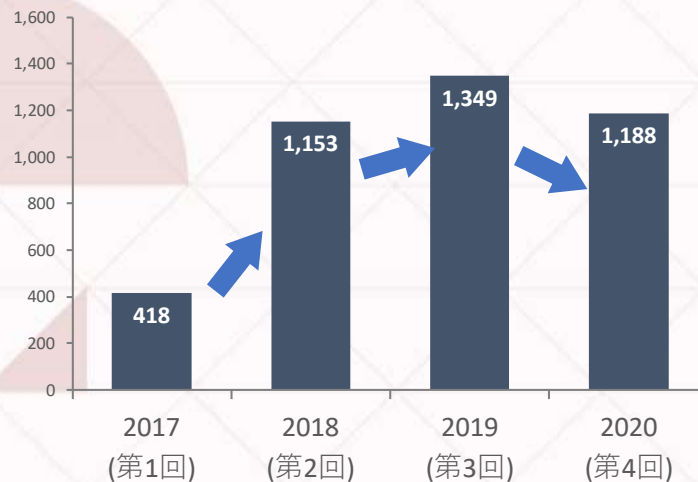
(単位：団体)



出展者によるマッチング成立数の推移

※マッチングシステムにより面談が成立したもの

(単位：件)

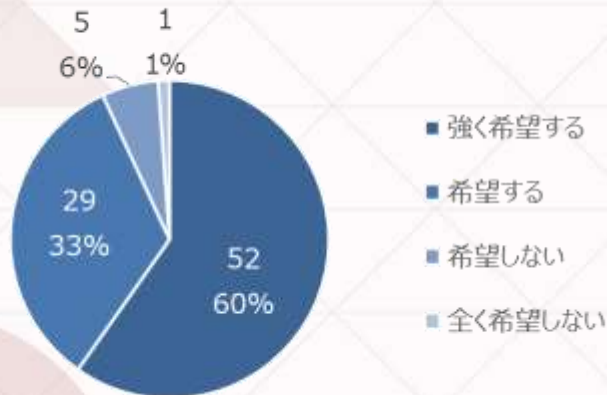


出展者・直後アンケート調査結果 (抜粋)

出展者の9割以上が次回出展を希望し、出展回数が多いほど次回出展を希望する傾向が強い

約 **93%** が次回のJHVSへの出展を希望

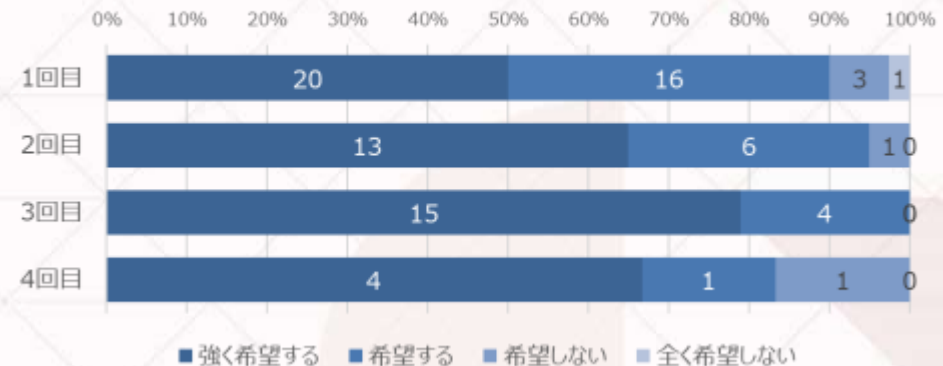
次回の本イベントへの参加をどの程度希望されますか。[N=87]



出展回数が多い ほど次回JHVSへの出展を希望

※「4回目」の出展者は母数が少ないため結果の解釈から除外

「出展回数」×「次回出展希望」 [N=85]



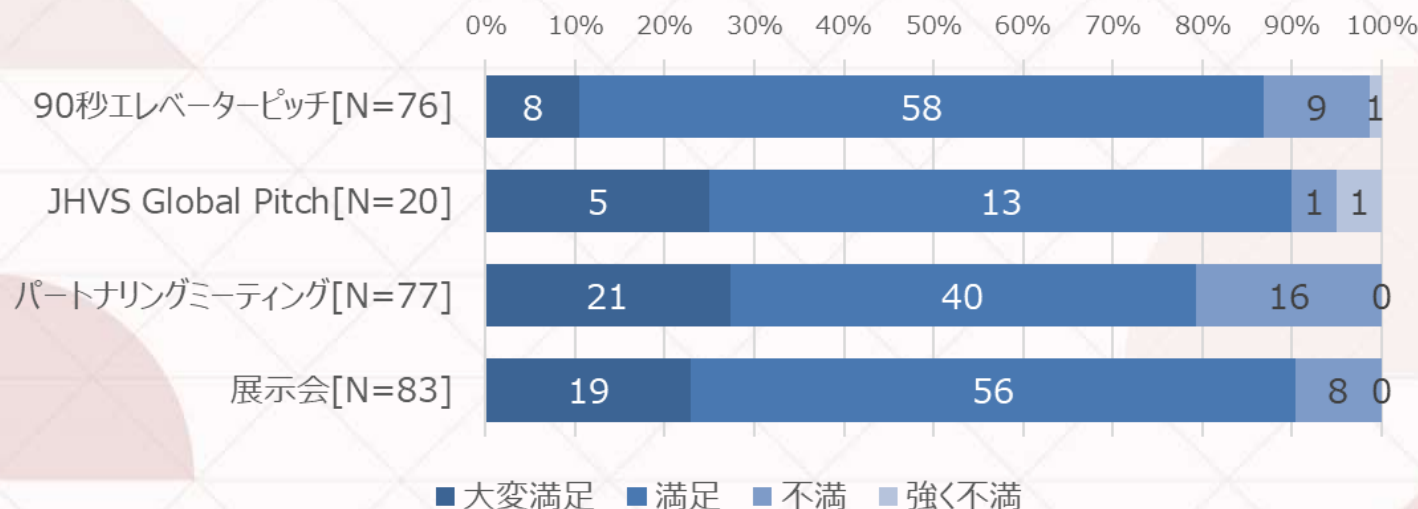
※「N」は事前アンケートと直後アンケート両方に回答した回答者数

出展者・直後アンケート調査結果 (抜粋)

プログラムやJHVS全体に対する満足度は高い。

各プログラムに対して約 **8割** の参加者は満足 「参加していない」を除外して集計

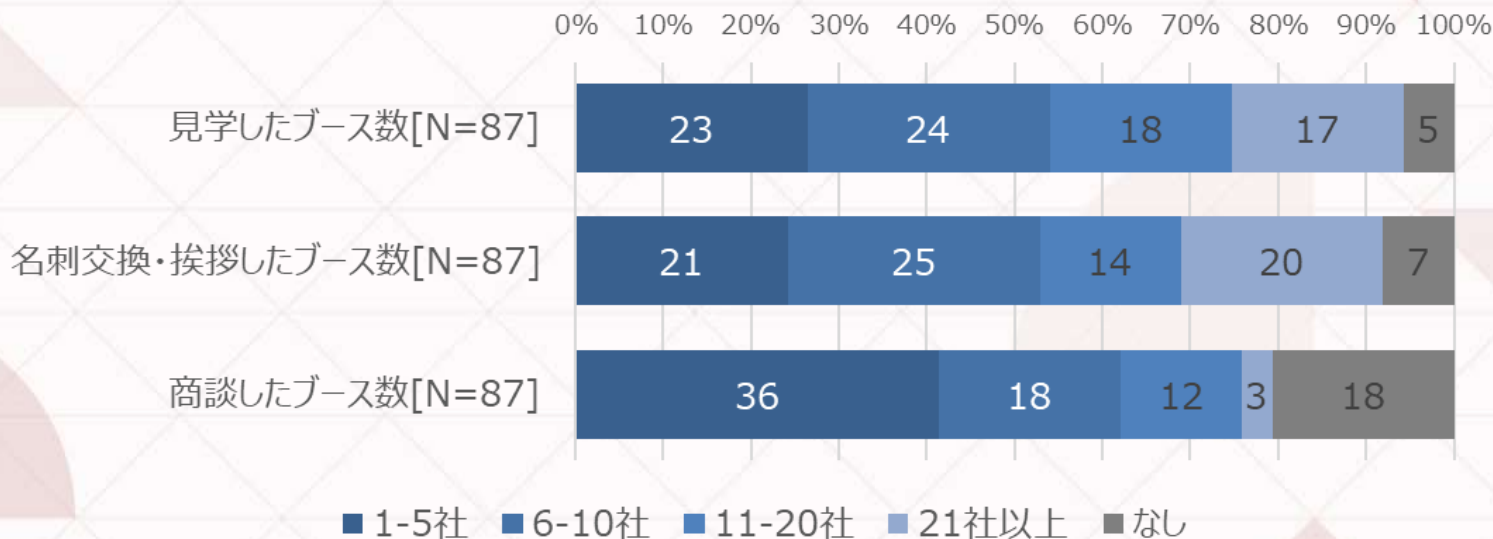
本イベントで参加したプログラムの満足度についてお答えください。



出展者ブース間での積極的な交流がみられ、さらなる交流促進が次年度の工夫として求められる

6社以上、見学・名刺交換した出展者は **約6割**、商談した出展者は **約4割**

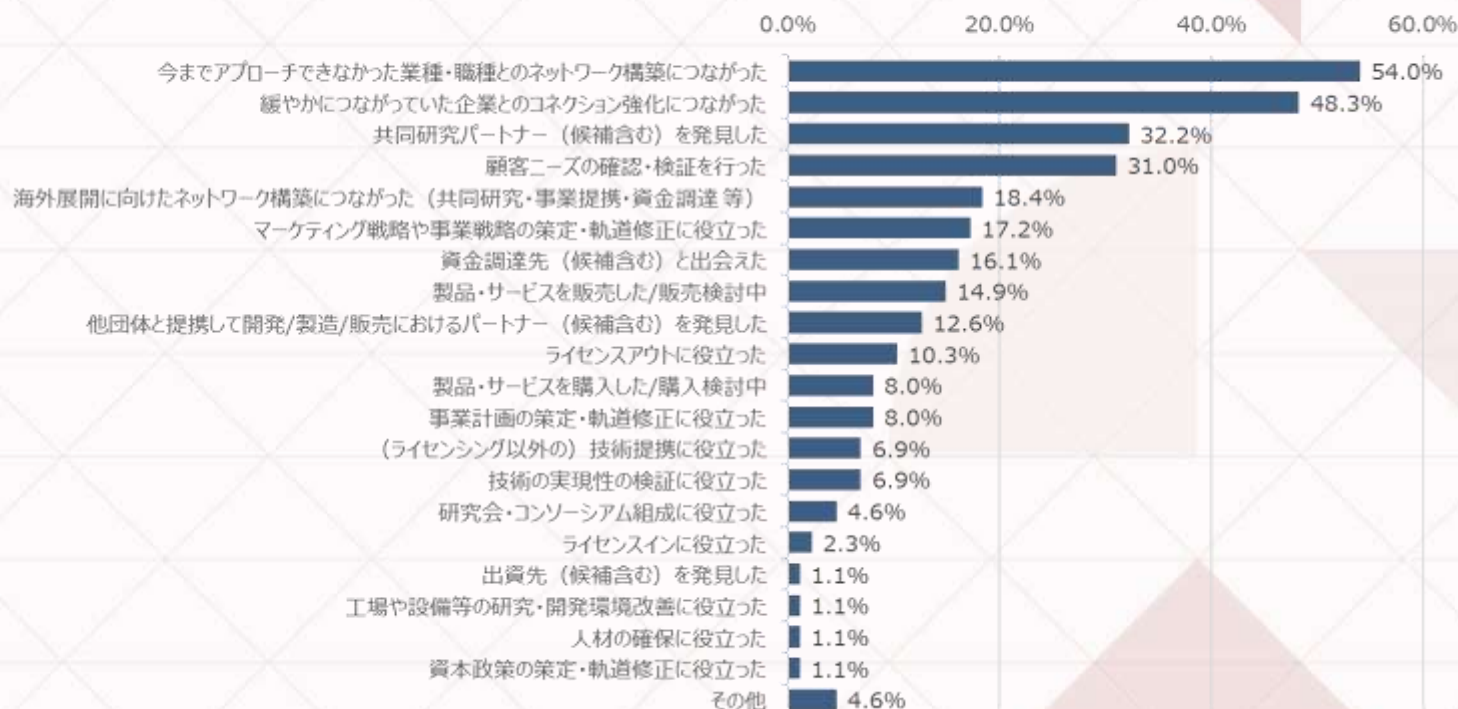
本イベントで見学、名刺交換、商談したブース数についてお答えください。



JHVSが出会いの場として機能して約半数の出展者がネットワーク構築/強化を成果としており、共同研究へつなげる効果も発揮

ネットワーク構築/強化・共同研究・顧客ニーズ確認が上位の成果

本イベントを通じて得られた成果に該当するものを全てお答えください。[N=87]



ネットワーク構築は期待を寄せた半数以上の出展者は成果として達成
 技術提携や開発パートナー探索は期待に対して成果が相対的に低く、次年度の工夫が求められる

ネットワーク構築・顧客ニーズ確認・共同研究 に対する高い期待は概ね成果として達成

※事前アンケートでの回答数が10以上の項目のみを記載

(事前) 期待する/ (直後) 得られた成果	事前 回答数	直後 回答数	成果を 得た割合
緩やかにつながっていた企業とのコネクション強化につながった	20	11	55.0%
今までアプローチできなかった業種・職種とのネットワーク構築につながった	33	22	66.7%
海外展開に向けたネットワーク構築につながった (共同研究・事業提携・資金調達等)	26	7	26.9%
共同研究パートナー (候補含む) を発見した	34	12	35.3%
ライセンスアウトに役立った	34	8	23.5%
(ライセンス以外の) 技術提携に役立った	11	2	18.2%
他団体と提携して開発/製造/販売におけるパートナー (候補含む) を発見した	10	2	20.0%
製品・サービスを販売した/販売検討中	21	7	33.3%
資金調達先 (候補含む) と出会えた	26	6	23.1%
顧客ニーズの確認・検証を行った	15	7	46.7%

※表中の「%」は四捨五入した値

参加者の反応 (抜粋)

【良かった点】

- 今回初めての出展であったが、製薬企業の**レーダーに引っかかるようになった**。製薬企業側の探索担当者もこういうイベントを探す場にいると思われ、バーチャルに移行するにしても、**「場」は必要**。
- 他パートナリングイベントも含め**Webベースの商談となる機会が多くなり**、感覚的には以前のFace to Faceでの商談と大きな違和感はなく、**空いた時間をフレキシブルに利用できる**点で大変助かる。
- **普段コンタクトが取れない企業や地方自治体、大学などと名刺交換等を行うことができ**、有意義であった。
- コロナ禍のなか、オンラインも導入していただいたことで**期待以上の情報交換を行う機会を持つことができた**。

【課題・改善点】

- **海外からの参加者が今後さらに増えて**、バイオ産業発展と日本のバイベンチャー企業の更なる発展につながるよう望む
- **オンライン面談も活用できて便利ではあるが**、「せっかく現地に行ったのだからいろいろな情報をできるだけ集めよう」というモチベーションが下がり、**情報収集という点では手薄になりがち**。イベント全体としてはこの辺に改善の余地があるのではないか。
- 他の会場と比較し、ブースの位置に関して**ソーシャルディスタンスに対し明らかな配慮があり**、ありがたかった。一方、**閑散とした雰囲気を感じられた**のも事実であった。
- **マッチングは重要**であり、イベントは継続いただきたい。できれば、**製薬企業の役員クラスに参加を促進いただけるとありがたい**。



一歩踏み出したい 医療系ベンチャー・ アカデミアのための 1 day シンポジウム ～エコシステムの波に乗るために～

参加費
無料

2021.2.4(木) 9:00~19:00

開催形式 **オンライン配信**

主催 **厚生労働省 (医政局経済課ベンチャー等支援戦略室)**

協力 **LINK-J**

参加申込 参加希望者は <https://jhvs2020.jp/> からお申し込みください。
申込締切:2021年1月27日(水)



Press Release

令和3年1月15日(金)
照会先
医政局経済課ベンチャー等支援戦略室
室長 田中(内線2526)
室長補佐 山本(内線2530)
専門官 菊池(内線4059)
(電話・代表) 03(5253)1111
(夜間)03(3595)2421

報道関係者各位

「一歩踏み出したい医療系ベンチャー・アカデミアのための1 day シンポジウム」

～エコシステムの波に乗るために～

JHVS 2020 シンポジウムをオンラインで開催します

池野 文昭



スタンフォード大学バイオデザイン/ MedVenture Partners 株式会社 取締役チーフメディカルオフィサー
国内で製薬企業を含む地域医療に携わった後、スタンフォード大学で多くの医療機器ベンチャーの研究開発等に副業時から関与し、成功したベンチャーも多数。大手も含む豊富なアドバイザー経験を活かし、日本の医療事情に精通。同大学では14年から医療機器分野の起業家養成講座に携わり、日本版Biodesignの設立にも深く関与。

本荘 修二



本荘事務所 代表/多摩大学 客員教授/ 医療系ベンチャー部 部長
新事業を中心に、日本の大企業ベンチャー・投資家等のアドバイザーを務める。500 Startups, 地動 Next Innovator 等のメンバーとして起業家育成、コミュニティづくりに取り組む。多摩大学 MBA客員教授、BCG東京、米 Computer Sciences Corporation, CSK/セガグループ会長付、投資育成会社 General Atlantic 日本代表などを経て、現在に至る。ベンチャーアカデミア経営学修士、早稲田大学博士(学術国際経営)

橘 正敏



BPMコンサルティングオフィス代表/MEDISOサポーター
精密機器企業の医療機器部門にて、25年以上、マーケティング(国内、海外の市場調査、販路開拓)、商品企画、法規制対応、品質システム構築など、製品ライフサイクルにわたる一連の業務に従事。社内、社外を含めた数多くのプロジェクトを管理した経験を持つ。医療系ベンチャー向けサポート事業のサポーターとして、プログラム医療機器等を開発するデジタル系スタートアップへの助言・支援経験を豊富に持つ。

奥田 浩美



株式会社ウィズグループ 代表取締役
ムンバイ大学(在学時:インド国立ポンペイ大学) 大学院社会情報学修士。1991年にIT特化のカンファレンス事業を起業。2001年に株式会社ウィズグループを設立。2013年には遠隔地に株式会社から出資する事業を開始。委員:情報処理推進機構(IPA)IT人材白書検討委員、「医療系ベンチャー集財推進会議」委員等、著書:「ワクワクするだけじゃ、やばい!!(PHP出版) ほか

曾山 明彦



一般社団法人Life science Innovation Network Japan 理事・事務局長 / 東北大学 特任教授
東京大学理学部物理科学卒業後、通商産業省(現経済産業省)入省、人事院長期在外研究員として米国立コロンビア大学ビジネススクールに留学(MBA)。(株)ボストンコンサルティンググループのプロジェクトマネージャー、トランスコスモス(株)の専務取締役を経て、ジョンソン・エンド・ジョンソン(株) ヴァイスプレジデント、欧米系医療機器企業2社の日本法人社長を経験。2019年4月LINK-J事務局長に就任、東北大学特任教授(2020年-)。

Tim Hart



Development Director, Oxentia
Tim has has nearly 30 years of experience in technology commercialisation and entrepreneurship work within universities and research institutes, his specialisation is Life Sciences. He has worked as an academic researcher, technology transfer professional, and entrepreneur, having spun-out and managed two investment-backed life science companies from university research, and advised in the formation and growth of many others.



JHVS2020 シンポジウム

開始時刻	プログラム名・内容	講師・登壇者 ※敬称略
官公庁等講演パート		
9:00	開会挨拶 ・開会の挨拶 ・JHVS2020シンポジウムの趣旨等について	・厚生労働省
9:02	シンポジウム開催にあたって ・JHVS2020シンポジウムへの期待、ベンチャーへの発破、本日ベンチャーに持ち帰ってほしいもの等について	・本荘 修二 (長)
9:05	キーノートスピーチ ・海外から見た日本の医療系ベンチャーへの期待（講演+質疑）	・池野 文昭 チーフメディカル
9:50	厚生労働省によるベンチャー支援 ・厚生労働省による全国的なベンチャー支援の取り組みについて	・厚生労働省
10:05	MEDISOの概要 ・医療系ベンチャーサポート事業（MEDISO）の概要について	・医療系ベンチャー
10:15	経済産業省によるベンチャー支援 ・Healthcare Innovation Hub（Inno-Hub）、J-Startup等、ベンチャー支援の取り組みについて	・経済産業省
10:25	AMEDによるベンチャー支援 ・AMEDによるベンチャー支援の取り組みについて	・国立研究開発
スタートアップ・大企業パート		
11:00	デジタル系スタートアップの動向 ・デジタル系スタートアップの動向についての話題提供 ・登壇企業の串紹介 ・パネルディスカッション	モデレーター： 橋 正敏（BF） パネリスト： ・河野 健一（BF） ・青山 裕紀（BF） ・高橋 秀徳（BF） ・西村 邦福（BF）
11:45	大企業ピッチ&トークセッション ・登壇企業ピッチ ・質疑応答兼トークセッション	モデレーター： 曾山 明彦（BF） 東北大学 特任教授 パネリスト： ・藤本 利夫（BF） ・橋 淳（BF） & Johnson I ・森 文隆（BF） ・鈴木 大祐（BF） メントマネージャー
JHVSパート		
13:30	JHVSについて ・JHVSの概要 ・これまでの成果について	・厚生労働省 医政局 経済課 ベンチャー等支援戦略室
13:40	JHVSから派生したミートアップ① ・LxT Bridge について	・本荘 修二 ・曾山 明彦
13:50	JHVSから派生したミートアップ② ・WOMBについて	・奥田 浩美（株式会社ウイズグループ 代表取締役）
14:00	JHVS2020 Venture Award表彰式 ・JHVS2020 Venture Award表彰式の趣旨説明 ・表彰	プレゼンター： ・厚生労働省 ・本荘 修二 ・曾山 明彦 ・橋 正敏 受賞企業： <JHVS2020 Venture Award> ・MabGenesis株式会社 ・スリープエル株式会社 ・株式会社メトセラ ・株式会社オンチップ・バイオテクノロジー ・PUREC株式会社 <審査員特別賞> ・株式会社ナレッジパレット ・株式会社ブレイン・セレクトティブクス ・株式会社ジーンテクノサイエンス
14:20	受賞ピッチ ・受賞企業によるショートピッチ	・受賞企業 8社
エコシステムパート		
15:15	エコシステムビルダー図鑑 ・アクセラレータ/VC等の支援機関とその機関が特に支援している企業によるエコシステムの紹介	モデレーター： ・本荘 修二 ・奥田 浩美 登壇者： ・株式会社デジタルガレージ & 株式会社ERISA ・500 KOBE ACCELERATOR（神戸市） & 株式会社T-ICU ・三菱UFJキャピタル株式会社 & 株式会社ガイアバイオメディシン ・株式会社東京大学エッジキャピタルパートナーズ（UTE） & Repertoire Genesis社 ・INDEE Japan Ltd. & 株式会社AIKOMI ・LINK-J & リペロセラ株式会社 ・CIC Japan合同会社 & タグシクスバイオ株式会社 ・湘南ヘルスイノベーションパーク（湘南アイパーク） & 株式会社ジエクスヴァル
16:45	海外アクセラレータからの日本のベンチャーへの期待 ・海外アクセラレータからの日本のベンチャーへの期待について	・Tim Hart（Development Director, Oxentia）
クロージング		
17:15	ラップアップ ・本日の振り返りと今後の展望 ・閉会宣言	・厚生労働省 ・本荘 修二 ・曾山 明彦 ・奥田 浩美
17:45	ネットワーキング（Meetup） ・オンライン形式で実施検討中	・参加者